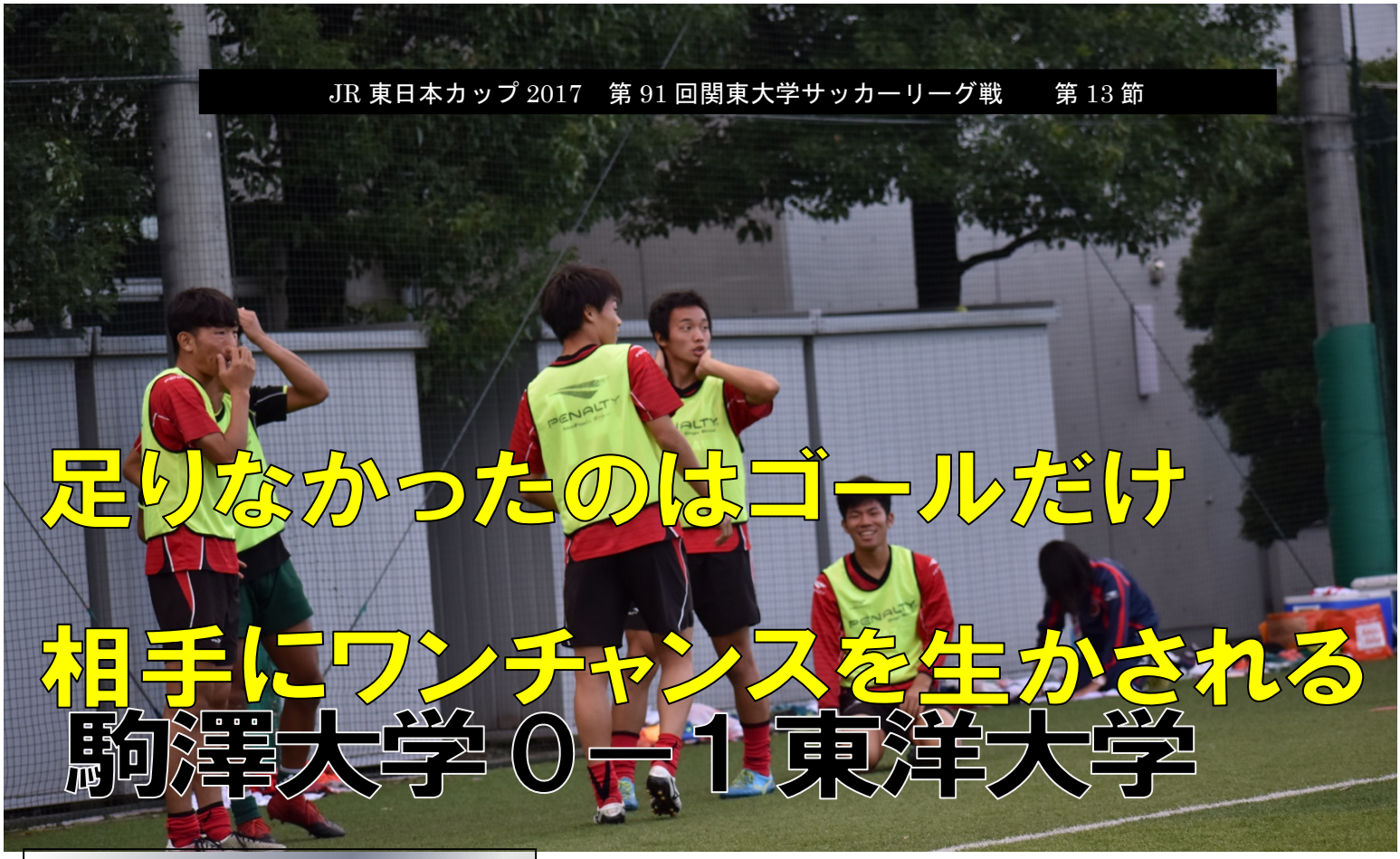

JR 東日本カップ 2017　第 91 回関東大学サッカーリーグ戦　　第 13 節

足りなかったのはゴールだけ

相手にワンチャンスを生かされる

駒澤大学０－１東洋大学

10 月 1 日 14：00　東洋大学朝霞グラウンド

駒大	0	(0-1) (0-0)	1	東洋大

得点者（ｱｼｽﾄ）

【前半】
16 分:[東]坂元

【後半】

KOMAZAWA	TOYO
GK①輪島　稜(4)	GK①伊藤俊祐(4)
DF㉗鈴掛　涼(3)	DF⑳坂本涼斗(1)
DF⑮須藤皓生(3)	(78 分⑯朝妻佑斗(2))
DF④星キョーワァン(2)	DF④浦上仁騎(3)
DF②熱川徳政(4)	DF②渡邉拓也(2)
MF⑥渡邉黎生(4)	(66 分㉖土田直輝(1))
MF㉜横山玄徳(2)	DF④渡辺星夢(3)
(82 分⑭大川雅史(4))	MF⑮松崎　快(2)
MF⑦大村英哉(4)	MF⑧高橋宏季(3)
MF⑬初芝政弘(4)	MF⑰坪川潤之(2)
(62 分㉝米田大介（1))	(54 分⑮原田　守(4))
MF⑳室町仁紀(3)	MF⑭宮吉悠太(4)
FW⑲高橋潤哉(2)	FW⑨丹代藍人(3)
(73 分⑨小田駿介(4))	FW⑪坂元達裕(3)
S　U　B	S　U　B
GK㉑角井栄太郎(3)	GK㉑小池大喜(3)
DF⑰深見侑生(2)	MF⑬阿部敬太(4)
MF⑯大塲淳矢(3)	FW⑦宮野直也(4)
MF㉞澤野祐輝(1)	FW⑲小林拓夢(2)
MANAGER 秋田浩一	MANAGER 道上裕之

[シュート]5:10 [GK]11:17 [CK] 7:2 [直接 FK]11:7
[間接 FK]1:0 [主審] 長峯滉希 [観衆]236 人

警告(C)／退場(S)

90+2 分[東]松崎(C2)

決定機の連続

絶対に負けられない駒東戦。なんとしても後期初勝利を掴みたい駒大は負傷の中原輝に代わって初芝政弘を起用。ボランチには守備的な渡邉黎生と横山玄徳を配置して臨んだ。

試合開始早々から駒大はサイド攻撃で東洋守備陣に攻め込む。左 SH の初芝にボールを集めると、持ち味とする縦の突破を生かして左サイドから長短織り交ぜたクロスを供給。トップの高橋潤哉、室町仁紀を狙ってフィニッシュを狙う。しかし、点と線は合わずになかなかシュートまで持ち込めない展開が続く。

一方、守備陣は渡邉と星キョーワァンが相手との空中戦を制してロングボールを跳ね返す。さらにこの日も先発出場した須藤皓生が相手エースの坂元達裕に付け入る隙を与えない粘りの守備を見せる。この日もディフェンスは好調のように思えたが、自陣でのトラップミスから CK を与えてしまう。すると、この CK のこぼれ球に対応しきれず、坂元に決められてしまう。絶対に与えてはいけない先制点を挙げられてこの日も試合を折り返す。

後半は駒大が攻勢をかける展開。大村英哉が果敢にドリブルで仕掛ける場面が多くあった。さらにサイドバックの熱川徳政が果敢にオーバーラップ。クロスを供給するも、味方には合わない。まだまだ攻め込むアタッカー陣。大村、高橋が連続でシュートを放つが、どちらも GK の好セーブの前に阻まれてしまう。

すると 62 分にベンチが動く。疲れが見えていた初芝に代わってトリッキーなドリブルを強みとする米田大介を投入。その後に続けて高橋のポジションに小田駿介を入れて得点への執念を見せる。すると米田に決定機。ルーズボールに反応してシュートを放つが、枠の上に外れて得点を奪えない。

試合はペースを握りながらも、得点には至らず時計の針は進んで行く。試合終了間際にはこちらも途中出場の大川雅史が鮮やかなドライブシュートを放つが、この日絶好調の GK にセーブされてこれも入らず。このままタイムアップの時を迎え、これで２試合連続無得点。さらに後期開幕から４戦で３敗目となった。（宮下　響）